

さくらのひと、みっけ！

目指せ！世界大会連覇！ 負けず嫌いは勝ち続ける



きのした ひまり
木下 陽葵さん

極真館桜井道場に所属している木下陽葵さんは、令和7年11月に開催された「極真館全世界空手道選手権大会」12～13歳女子40kg未満の部で、世界の強豪を相手に優勝を勝ち取りました。

木下さんが空手を始めたのは3歳の時。「誰にも負けたくなくて、負けるといつも大泣きしていました」と恥ずかしそうに当時の振り返りをします。厳しい練習を重ね、経験を積んだことで「気持ちの切り替えが上手になりました」と誇らしげな表情を見せます。

世界大会優勝を目指す木下さんの練習は厳しいものです。休日には、他府県で大人と組み手などの実践練習に励むことも。「大人との組み手はあざもできるし、正直こわいです」と木下さんは笑いながら話します。

厳しい練習の日々を乗り越えて、迎えた世界大会。会場入りした木下さんは、緊張していたと振り返ります。試合が始まると、得意としているさまざまな蹴り技を武器にあまたの強豪を抑え、優勝を勝ち取ります。優勝した瞬間の気持ちを尋ねると、頬が緩み「やったーって感じです」と答えるその表情は、喜びに満ちていました。

次の目標は「世界大会連覇です」と、熱意に燃える木下さん。来年からは大人との実戦練習の時間がさらに増加します。「誰にも負けたくない」この気持ちを胸に、世界王者は勝ち続けます。

発掘調査現場から (316)

市立埋蔵文化財センター 入館者 18万人達成！

令和7年10月29日[㊤]に、市立埋蔵文化財センターの累計入館者数が18万人を迎えました。開館以来全国から多くの方が来館し、このたび節目を迎えることができました。

記念すべき18万人目の入館者は、千葉県千葉市在住の小林みやさんです。小林さんは「今日は1人でゆっくり展示を見ようと思って来ました。まさか自分が記念の入館者になるとは思っていなかったの、とてもうれしいです」と、少し驚いた様子ながらも笑顔で話してくれました。小林さんには、認定書とオリジナルグッズなどの記念品を贈呈しました。展示室入口には記念の横断幕を掲げ、センターはささやかながらもあたたかな祝賀の雰囲気になりました。

桜井の歴史や文化に触れようと足を運んでくれる一人一人の積み重ねが、18万人達成につながりました。これまで来館いただいた皆さん、ありがとうございます。

現在、市立埋蔵文化財センターでは企画展「桜井の城館と陣屋」を開催しています（4月19日[㊤]まで）。これまで取り上げられることのなかった、中世のお城について紹介しています。ぜひ来館してください。



18万人目の入館者・小林さん▶